

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	横浜市三春台保育園
経営主体(法人等)	横浜市
対象サービス	保育所
事業所住所等	〒232-0002 横浜市南区三春台107
設立年月日	昭和43年7月1日 平成20年3月改築
評価実施期間	平成25年月8月～26年3月
公表年月	平成26年7月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市評価基準
総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）	
【施設の特色】 1. 立 地 園は京浜急行黄金町駅から徒歩 15 分の丘の上に位置し、隣接する三春台公園には園庭から直結する門が設けてあり、園庭同様に使っています。近くには園と交流のある太田小学校や寺社、公園が点在し、野毛山動物園も散歩コースの一つです。 2. 沿革・概要 開園して 45 年ですが、鉄筋造り 2 階建てに建て替えて 6 年目になります。定員 74 名のところ、1 歳児から 5 歳児まで在籍 67 名となっています。1 階には子育て支援室や図書コーナーがあり、近隣の子育て親子や横浜市が推進している家庭的保育所の子どもたちが園庭と共に利用できるようになっています。 【優れていると思われる点】 1. 子どもの発達や興味に合わせた保育 ① 指導計画では子どもの発達に合わせた職員の配慮事項を詳しく記載し、クラス毎のデイリープログラムにも子どもに対するリーダーとサブの動き方を細かく記載して、子ども一人一人に応じた対応をできるようにしています。 ② コーナーは季節に合わせて内容を変えることで、子どもの発達や興味に合わせたものになっています。例えば、乳児には年度途中からおんぶひもやエプロンを用意する、3 歳児は拾ってきたドングリをたくさん置いておき製作や劇に使う、4 歳児はお店屋さんごっこのために手作りのレジスターを置く、5 歳児はブロックや絵本の字も細かいものにしていくなどです。 ③ おもちゃや教材、図鑑、あやとりや折り紙の本など、写真を見ればすぐわかるように棚に収納し、子どもが興味を持った時に自由に取り出すことができます。	

2. 職員間の連携強化の工夫

常勤・非常勤や職種を超えた職員同士の連携が保育内容の充実につながっています。

- ① 常勤・非常勤の交替の時には時間が重なるようにして、引継ぎの時間を充分とるようにしています。その結果、送迎時の情報伝達について、保護者アンケートの満足度が高くなっています。
- ② 子どもの状況に応じて、ほかのクラスの職員とも連携し合っています。クラスの活動に参加したくない子どもを、職員同士で話し合っただけのクラスの活動に参加させたりしています。
- ③ 一匹の魚の食べ方を調理員が子どもに説明しやすいように、他の非常勤職員が身や骨がはずれる魚の模型を手作りするなど、食育について協働しています。
- ④ 園内研修は午睡の時間に、担当者を決めて非常勤職員も出席できるように2部制にして実施しています。短い時間に効率よくできるように、担当者が事前準備をしてポイントを絞って行い、全職員の保育の質の向上を図っています。

3. 保護者に保育を理解してもらう工夫

- ① 行事や地域交流など日常の様子を写真にとってコメントを入れ、当日夕方には玄関に掲示しています。クラスノートやクラスだよりにも、日常の様子を貼っています。
- ② 保育士体験として保護者がクラスに入り、絵本の読み聞かせやふれあい遊びをしてもらったり、保護者の得意な英語や太鼓を教えてもらうなどで、クラスの雰囲気味わえるようにしています。
- ③ 日常の保育で使っている絵本や手遊びを、保護者に月1回夕方の時間に披露している職員もいます。クラスに置いてある絵本コーナーには、絵本だよりと共に今クラスで読んでいる絵本を立て掛けて、保護者にわかるようにしています。

【さらに改善を期待したい点】

1. 保護者の要望に対する検討や保護者への説明

従来、園の運動会は広い敷地がある隣の三春台公園で行っていましたが、園庭の整備が進んだことや保安上の理由などにより園庭での開催に変更しました。運動会開催場所やプログラム、昼食の取り方などに対する要望が多く出ています。また、5歳児の午睡を一斉活動としない時期について、保護者の意見・要望が見られます。家族アンケートによると「年間保育や行事に保護者の要望が活かされているか」の設問には否定的回答が27%に達しています。今後、保護者の要望に対する検討および園の趣旨説明の工夫が望まれます。

評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

- ・ 保育理念『全ての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信を持って生きていけるように』を掲げ、子どもを尊重したものとなっています。
- ・ 性差・子どもの人権に関連するチェックリストで、非常勤職員を含めてクラス毎に年3回チェックし合っています。
- ・ 職員が連携して、一人一人の子どもに寄り添って子どもの心を受け入れるようにしています。子どもの行動は止めるのではなく、子どもにしてほしいことを分かりやすく伝えるようにしています。
- ・ 児童憲章を各保育室にも掲示し、子どもの心を傷つけない保育姿勢をとるよ

	う全職員が認識しています。おねしょをした布団を干す場所も工夫しています。 ・ 守秘義務や個人情報の取り扱いについては、研修や職員会議で周知し、保護者にも説明しています。また、実習生やボランティア、保護者の保育士体験でも守秘義務について説明し、誓約書に署名してもらっています。写真についてもデータでは渡さないようにし、情報が流出しないようにしています。 ・ 遊びや持ち物、服装グループ分けなど性別による区別はしていません。
2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	・ 保育課程は、基本方針に基づき、保護者の家庭状況や就労状況、園周辺の環境などを考慮して作成し、全職員で確認しあっています。振り返りの中から新年度の年間クラステーマを挙げ、テーマに基づいた保育に取り組んでいます。 ・ 子どもの発達状況を踏まえて、年齢に応じた言葉で、子どもに分かり易く説明し、子どもが理解し納得したことを把握した上で、子どもの気持ちに寄り添った丁寧な対応をしています。 ・ おもちゃや素材は子どもが自由に取り出しやすいように、低い棚に写真やイラストを使って分かりやすく分類して置いてあります。台所セットや手作りレジスターのあるお店屋さん、絵本などのコーナーを作って、季節ごとに変えています。 ・ 子どもの興味、関心により、紙飛行機作りから夏祭りの催しに、絵本の「こびとづかん」から公園でのこびと探しやこびとへの手紙、運動会のプログラムに発展しました。 ・ 金魚・クワガタ・イモリを飼育して生き物に触れ、ザリガニ・チョウチョウ・カイコの幼虫を育て、共食いや自然淘汰の厳しさも子どもたちに体感させています。各種の野菜や花は種から育て、園内の畑や隣の三春台公園に植えて育て、野菜はクッキング保育にも使っています。 ・ 廃材を用意して、自由な発想で制作できるようにしています。折り紙の本やあやとりの本を用意し、子どもたちが自分で見て遊べるようにしています。 ・ 絵本担当の職員を決めて絵本だよりを作ってクラスの棚に置き、今日読んだ絵本やお勧めの絵本を立て掛けて、絵本に親しむようにしています。 ・ レストランごっことして、園庭の花をテーブルに飾り、自分で作ったランチョンマットを敷き、BGM を流したりしています。テラスにテーブルを出して食べることもあります。 ・ 眠れない子どもは、保育室の中でついたてをして遊ぶ、布団の上で静かに本を読む、子育て支援室で過ごすなど、柔軟な対応をしています。 ・ 毎日の送迎時には、個人別ノートやクラスノートのほかにその日の子どもの様子を伝えるなど保護者と会話するように努めています。 ・ 保育士体験では、保護者が絵本の読み聞かせやふれあい遊びをしたり、保護者の得意なものなどで午前中過ごし、午後には懇談会やおやつを試食、個別面

	談をしています。 ・行事、地域交流、育児支援ほか日常の様子を写真にして、玄関に掲示しています。クラスノートやクラスだよりにも、日常の様子を貼っています。 ・日常の保育で使っている絵本や手遊びを、保護者に月 1 回披露しています。
3.サービスマネジメントシステムの確立	・保育課程を基に子どもの発達状況に応じて指導計画を作成、振り返り、評価、見直しを行っています。年度末にはアンケートをとって保護者の意見や意向を指導計画に反映させるようにしています。 ・進級時、前年度担任から記録を見ながら口頭で詳細な引継ぎが行われ、クラス担当の一人は持ち上がるようにして、園児が不安にならないよう配慮しています。進級時不安がある子どもには、職員が連携し個別に対応しています。 ・配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。中部地域療育センターの巡回指導や統合保育の研修を受け、保育カリキュラムの組み方、考え方について学習し、内容を全職員で共有し日常の保育に生かしています。障がいの特性に合わせた生活絵カードを利用しています。 ・虐待の予防のため、チェックシートを利用し、虐待が疑わしい場合、明白になった場合には、児童相談所と連携を図っています。 ・入園面談でアレルギー疾患の状況を把握し、医師の指示を受けて子どもの状況に応じた対応をしています。毎日のミーティングで翌日の献立について確認し、配膳の際は、個別のトレイ、専用食器、名札を使用し、確認後復唱し、誤食事故を防止しています。 ・入園のしおりに「苦情解決制度につて」の記載があり、入園説明会で説明しています。園の苦情担当者と第三者委員の氏名、横浜福祉調整委員会、南区こども家庭支援課の連絡先を玄関に掲示しています。 ・クラスノート、行事後のアンケートに自由記載欄を設け、日常保育についての意見なども書けるように工夫しています。年度末には横浜市統一の保護者アンケートを実施しています。結果をまとめたものを保護者に配付しています。 ・苦情・要望は整理してファイルされ、問題解決と再発防止に活用しています。保護者アンケート結果を分析して、活動内容が保護者に伝わりにくいということで、活動の様子を写真で掲示するようにしました。 ・保育中に感染症を発症した場合は保護者に連絡し、お迎えに来るまで別室で職員が保育しています。また、「お知らせします」と大きな字で目立つ掲示を、各クラスと玄関に掲示しています。 ・地震・火災を想定した避難訓練を毎月実施しています。年 1 回消防署と連携し、消防車にきてもらい水消火栓の使い方の訓練をしたりしています。不審者が現れた時の合言葉を決め、子どもたちが一刻も早く建物内に入れるよう土足での対応訓練をしています。外出時の訓練もしています。

	・子どものケガは、軽度であっても保育日誌と引継ぎノートに記録して保護者に状況を報告しています。事故報告書、ヒヤリハット記録表にも記録し、2か月に一度チェックして、再発防止策を検討しています。
4.地域との交流・連携	・地域住民との交流は、交流保育（年6回）、ランチ交流（毎月1回）、園庭開放（毎週水、木曜日の午前中）、育児講座（年3回）を行っています。今年度の育児講座では水遊び、手作りおやつ、歯科健康講座を行いました。手作りおやつ講座では子どもと一緒に作れる簡単なおやつ（スイートポテト、つまみあげ）の試食とレシピを提供し好評を得ました。 ・育児相談は相談日を設定せず、随時対応しています。 ・夏祭りや運動会、おたのしみ会、クッキーパーティなどの行事に地域の方を招待し、地域の公園愛護会と三春台公園の清掃や花植えなどの活動を年間を通して行っています。 ・太田小学校の1年生と5歳児がミニ運動会、給食体験などを行い、4歳児が2年生と手作りおもちゃで遊ぶなど定期的に交流があり、小学校の運動会にも招待されています。また、太田小学校の合同防災訓練に参加したり、1月には作品展に園児の作品も展示する予定です。 ・市立図書館に登録し、150冊の絵本などを借り、園の絵本とあわせて地域の人に本の貸し出しを行っています。毎月第1、第3土曜日の午前中に地域支援室を開放しています。
5.運営上の透明性の確保と継続性	・園の保育姿勢などを記載したパンフレットを作成し、南区子育て支援拠点「はぐはぐの樹」に置いて情報提供しています。 ・児童憲章は玄関と各クラスに掲示し、法、規範、倫理の必要部分をファイルにして、職員はいつでも見られるようになっています。 ・5歳児の年間指導計画に「エコ活動」の欄があり、生ゴミの一部を乾燥機に入れ、たい肥にして畑に撒いています。分別できるゴミ箱作りなどもしています。 ・横浜市環境循環局の「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の取組として、ラッピングカーに来てもらって紙芝居などで環境への考え方の指導を受けました。 ・重要な意思決定にあたり、保護者とは懇談会、保護者会、役員会で継続的に意見交換をしています。職員には職員会議、福祉員会議、アルバイト会議で説明しています。年度途中での担任変更などは掲示だけでなく、園長が個別に口頭で説明しています。 ・重要な改善課題は、職員会議や福祉員会議、アルバイト会議などで全職員に周知し、園全体の取組としています。今年度第三者評価受審にあたって自己評価をして見つかった改善課題は、園全体で取り組んでいます。 ・主任は、各種カリキュラム、日誌、クラスノートなどの記録に目を通し、業

	務状況を把握し、各職員との連携も密にとり、園長と職員とのパイプ役になっています。ほかに、新人職員にはトレーナー職員制度があり、相談にのってもらうことができます。
6.職員の資質向上の促進	・園長は職員一人一人と面談し、人事考課制度により職員が作成した目標共有シートを基に、年間目標を立てています。年度末には職員アンケートや面談で、達成状況の確認や反省をしています。 ・園内研修は午睡の時間に、担当者を決めて非常勤職員も出席できるように2部制にして実施しています。短い時間に効率よくできるように、担当者が事前準備をしてポイントを絞って行っています。 ・職員、非常勤職員ともに、園外の研修にも参加し、報告書と共に資料を添付して回覧し、発表もします。研修計画について秋に中間振り返り、12月には面談をして研修の成果を評価しています。 ・各クラスのデイリープログラムには、リーダー、サブ、アルバイト職員の動きを細かく表にして、わかりやすくしています。・年1回職員は自己評価チェックリストを用いて自己評価し、担当者を決めて園内研修で園としての自己評価をしています。 ・各指導計画、保育日誌に記入してあるねらい、配慮事項に対して自己評価するようになっています。子どもの気持ちがどうか、意欲を促すような援助ができたかどうか、子どもが徐々にできるようになってきた様子などを詳しく記述しています。その結果を、次回の計画作成に反映させています。園長、主任の助言や、ほかの職員の日誌の記載を見ることで、気づきを得ています。 ・第三者評価を受けるにあたり、一人一人の自己評価をもとに少人数で話し合い、それを全体に報告して話し合い、さらに担当を決めてまとめました。

評価機関による評価



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と保育計画等の作成 	・保育理念『全ての子どもたちが、自分を「かけがえのない存在」と感じ、自信を持って生きていかれるように』を掲げ、「子どもが喜んで登園し、安心して生き活きと遊べる環境をつくります」「一人ひとりの子どもを大切に、自発性や意欲を育てていきます」「子どもを温かく見守り、共感しあえるような豊かな人間関係の基礎をつくります」「一人ひとりの状態に合わせ、その子に応じた平等な保育を重んじています」「保護者や地域の皆様に信頼される子育てパートナーになります」を基本方針にして、利用者本人、家庭支援、地域支援を視野に入れたものになっています。 ・保育課程は、全職員が共有し、基本方針に基づき、保護者の家庭状況や就労状況、地元の自治会や公園愛護会、小学校や近隣の保育園との交流、園周辺の環境などを考慮して作成されていて、子どもの育ちの最善の利益を第一義にして作成しています。 ・指導計画は保育課程に基づき、年齢ごとに作成し、日常保育において、子どもの態度・表情を観察して意思を汲み取り、言語化できる子どもからは言葉で考えや要望を取り入れ柔軟性を持って対応しています。
Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 	・新入園児に関する子どもの情報は、入園決定後、入園説明会で面接を行い入園質問票に記入し、記録をもとに職員会議で報告し、全職員に周知しています。入園後、3日以内に再度個人面談を行い一人一人の子どもの発達状態や課題を把握し、その情報は全職員で共有し入園後の保育に活かしています。 ・短縮（ならし）保育については入園前の個人面談で意図を説明し、保護者が十分理解をできるようにしています。子どもの様子や、保護者の勤務事情に応じて調整しています。 ・1、2歳児に対しては、個別に主担当保育者を決め、安定した関わりができるようにしています。 ・保育課程を基に子どもの発達状況に応じて指導計画を作成、振り返り、評価、見直しを行っています。保護者にはクラス懇談会時に説明し、園だよりに今月のクラスごとの保育目標を掲載し活動内容を知らせ、年度末にはアンケートをとって保護者の意見や意向を指導計画に反映させるようにしています。 <工夫している事項> ・支援を必要としている子どもは体験保育を行い、担当保健師、ケースワーカー、中部地域療育センターと連携を取り、適切な対応ができるようにしています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ・ 保育園舎内外・おもちゃはマニュアルに沿って清掃が行われ、チェック表を利用し清潔に保たれています。
- ・ 各保育室とも大きな窓からの採光は豊かで明るく、温度計・湿度計を備えて常に快適に過ごせるようにチェックし、通風・換気などが確保され、加湿機能付き空気清浄機を設置して、気になる臭いを取り除いています。
- ・ リズム遊びなどではクラス間で活動内容を調整し、音楽や保育者の声などが騒音にならないように配慮しています。園内研修や個人目標で「保育者の声について」を課題として捉え、大きな声を出すのではなく保育者が近くに行って声を掛ける取組みをしています。
- ・ 0歳児がいないため沐浴施設はありませんが、温水シャワーは乳児トイレと園庭の足洗い場に設置しています。
- ・ 棚などを利用しままごとや絵本のコーナーを作り、子どもたちの興味や関心に応じて小集団で活動できるように保育室の使い方を工夫しています。
- ・ 1、2歳児と一緒に「さくらさくらんぼリズム」を行ったり、3～5歳児が収穫した野菜でカレーパーティを行うなど異年齢で交流する機会を積極的に取り入れています。乳児と幼児との交流も、園庭で遊んだりクラスを超えて一緒に散歩に出かけたり、5歳児が乳児のクラスにお手伝いに行くなど、日常的に行われています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ・ 1、2歳児と特別に課題のある幼児については月ごとに個別指導計画を作成しています。
- ・ 個別の指導計画は毎月のカリキュラム会議で話し合い、評価、反省を行い記録しています。子どもの発達状況によっては、柔軟に変更、見直しを行っています。
- ・ 保育所児童保育要録は、できる限り小学校に直接渡しに行き、特に気になる子どもに関しては担任も一緒に行き、口頭でも話をしています。
- ・ 入園面接時の入園質問票、児童票、健康台帳、入園後の経過記録と併せてクラスごとに保管され、必要に応じて職員はいつでも見ることができます。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



・配慮を要する子どもを積極的に受け入れ、カリキュラム会議で個別のケースについて話し合い、会議録に記録しています。

・園舎にはエレベーターが設置され、玄関は段差がなく、車いす用トイレがあり、保育には障がいの特性に合わせた生活絵カードを利用しています。障がいに応じた適切な対応ができるように園内研修を行い、障がいの特性・対応の仕方について共通理解が図れるように努めています。今年度は南区の障がい児研修の資料を基にした事例に対して、子どもの課題・問題点を考える園内研修を行っています。

・虐待について毎年園内研修が行われ、全職員に周知されています。虐待の予防のため、チェックシートを利用し、身体の傷、登園時の親子の様子、家庭での食事、発育状態、衣服のチェックなどを行い、虐待が疑わしい場合、明白になった場合には、児童相談所と連携を図っています。

・アレルギー疾患のある子どもは代替食や除去食を提供する場合には、除去食申請に関する主治医意見書に従い、毎月、保護者と園長・調理員・担任が詳細な食材表を基に面談を行い対応しています。年に一度、意見書の見直しを行っています。

・外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対しては、入園時の個人面談で保護者からの要望を聞き、文化や生活習慣、考え方の違いを尊重した対応を図っています。世界地図やいろいろな国の文化が載っている絵本を置いたり、韓国籍の保護者に韓国の太鼓を教えてもらったり、イギリス国籍の保護者に保育士体験として、英語の活動を依頼するなど子どもが自然にいろいろな文化に触れられるように工夫しています。

<工夫している事項>

・ノーマライゼーションの考えを取り入れた統合保育を行い、障がいのあるなしにかかわらず共に育ちあう関係づくりを目指しています。職員は統合保育の研修を受け、保育カリキュラムの組み方、考え方について学習し、プログラムの選び方やほかのクラスと連携することにより、一人一人が楽しく取り組めるように工夫しています。

評価分類	評価の理由（コメント）
I－6 苦情解決体制 	・入園時配付の入園のしおりに「苦情解決制度について」の記載があり、入園説明会で説明しています。園の苦情担当者と第三者委員の氏名、横浜福祉調整委員会、南区こども家庭支援課の連絡先を玄関に掲示しています。 ・玄関に意見箱を設置しています。幼児のクラスノート、行事後のアンケートに自由記載欄を設け、日常保育についての意見なども書けるように工夫しています。年度末には横浜市統一の保護者アンケートを実施しています。アンケートの結果などについては、結果をまとめたものを保護者に配付しています。 ・要望や苦情に関するマニュアルが整備され、職員会議などで苦情の解決策を徹底すると共に、苦情・要望があった場合は園長に報告され、速やかに対策協議を行い対応しています。 ・過去にあった苦情・要望は整理してファイルされ、問題解決と再発防止に活用しています。昨年のアンケート結果を分析して活動内容が保護者に伝わりにくいということで、クラスノートなどに活動の様子を写真で掲示するようにしました。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－1 保育内容[遊び] 	・おもちゃや素材は子どもが自由に取し出しやすいように、低い棚に写真やイラストを使って分かりやすく分類して置いてあります。台所セットや手作りレジスターのあるお店屋さん、絵本などのコーナーを作って、季節ごとに変えています。 ・子どもの興味、関心により、紙飛行機作りから夏祭りの催しに、絵本の「こびとづかん」から公園でのこびと探しやこびとへの手紙、運動会のプログラムに発展しました。 ・金魚・クワガタ・イモリを飼育して生き物に触れ、ザリガニ・チョウチョウ・カイコの幼虫を育て、共食いや自然淘汰の厳しさも子どもたちに体感させています。各種の野菜や花は種から育て、園の畑や隣の三春台公園に植えて育て、野菜はクッキング保育にも使っています。 ・廃材を用意して、自由な発想で製作できるようにしています。折り紙の本やあやとりの本を用意し、子どもたちが自分で見て遊べるようにしています。 ・朝夕の合同保育時間以外に異年齢保育カリキュラムを作り、積極的に異年齢の集団としての保育をしています。リズム、体操、散歩は定期的に異年齢で行っています。5歳児は、乳児の着替えや入室の手伝いをして、年下の子どものとの関わりを大切にしています。 <工夫している事項> ・絵本担当の職員を決めて絵本だよりを作ってクラスの棚に置き、今日読んだ絵本やお勧めの絵本を立て掛けて、絵本に親しむようにしています。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- ・給食は子どもの好き嫌いや体調に合わせ、子どもとの信頼関係を軸に、無理強いせず子どもの希望を聞きながら量を加減しています。
 - ・3歳児からはトウモロコシの皮むき、絹さやのすじ取りなどの下準備を手伝い、5歳児のクッキング保育では、自分たちで種から栽培した野菜を使ったカレーを作っています。
 - ・レストランごっことして、園庭の花をテーブルに飾り、自分で作ったランチョンマットを敷き、BGMを流したりしています。食べる雰囲気を変えるためにテラスにテーブルを出して食べることもあります。
 - ・献立会議や毎日のミーティングでも、盛り付けや刻み方などの調理方法の工夫を話し合っています。
 - ・眠れない子どもは、保育室の中でついたてをして遊ぶ、布団の上で静かに本を読む、子育て支援室で過ごすなど、柔軟な対応をしています。
 - ・SIDS（乳幼児突然死症候群）対策としては、1歳児は10分ごとに呼吸をチェックし、うつぶせ寝になっていないか確認して記録しています。
 - ・5歳児は、2月からは一斉には午睡をしていませんが、必要な子どもは片隅に布団を敷いて横にならせています。
 - ・排泄は個々の子どものリズムを職員が把握しており、子どもによって声を掛けてトイレに誘導しています。
- <工夫している事項>**
- ・手作りの魚の模型を使って、1匹の魚を食べる指導をしています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[健康管理]



- ・健康管理や症例ごとの詳しい感染症マニュアルが整備されています。
- ・子どもの健康状態は、乳児は連絡帳、適時口頭で保護者に伝えています。長時間保育の場合は、嘱託員に引継ぎノートで漏れのないようにしています。病気や発熱があった場合は、翌日登園時に様子を聞きとるようにしています。
- ・年齢毎の歯磨きカリキュラムがあり、年1回歯科衛生士による歯磨き指導、5歳児は看護師による赤染を実施しています。年齢に応じて並べた椅子にすわって歯磨きをし、必要に応じて4歳児まで職員が仕上げ磨きを行っています。
- ・健康診断・歯科健診は年2回実施し、その結果を台帳に記録して保護者に報告し、結果によっては治療を勧めたり、園での指導の参考にしています。
- ・感染症が発生した場合は、「お知らせします」と大きな字で目立つ掲示を、各クラスと玄関に掲示しています。保育中に感染症を発症した場合は保護者に連絡し、迎えに来ることができるまでは、別室(子育て支援室や事務所)で職員が保育しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[衛生管理]



- ・清掃、トイレ清掃、洗濯、調乳など各種衛生管理マニュアルは、年1回見直しています。
- ・マニュアルは各クラスに置いてあり、採用時、異動時のほか、年1回全職員で研修し周知しています。
- ・掃除分担表や掃除チェック表で、清掃されたことを確認できます。1歳児のおもちゃなどは日に2度、ほかのクラスは週末に拭いたり洗ったりします。感染症が発生した場合は毎日消毒します。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理[安全管理]



- ・毎月地震・火災を想定した避難訓練をし、年1回は消防署と連携した訓練をしています。地域防災拠点である太田小学校に、防災の日に4、5歳児が参加しています。
- ・職員は非常勤職員を含めて赤十字幼児安全法の講習を受け、園内研修でも確認しています。
- ・子どものケガについては、軽度であっても必ず園長に報告し、保育日誌だけでなく、引継ぎノートに記録して、保護者に状況を報告しています。また、事故報告書やヒヤリハット記録表にも記録し、2か月に一度チェックして、再発防止策を検討しています。
- ・玄関はモニターで名札の提示により確認してから開錠しています。窓を閉めるときは常に鍵をかけています。
- ・警備会社と契約して、24時間の不審者対応をしてもらっています。各保育室に携帯電話、連絡ブザーを置き、不審者が現れたときの合言葉を決めて、子どもたちが一刻も早く建物内に入れるよう土足での対応訓練をしています。外出時の訓練もしています。

評価分類

評価の理由（コメント）

Ⅱ－３ 人権の尊重



- ・性差や子どもの人権に関連するチェックリストで、非常勤職員を含めてクラス毎に年3回チェックし合っています。園長が人権研修を受けて、非常勤職員にも園内研修で内容を伝えています。
- ・児童憲章を各保育室にも掲示し、子どもに寄り添って子どもの心を傷つけない保育姿勢をとるよう全職員が認識しています。おねしょをした布団を干す場所も工夫しています。
- ・幼児のシャワーではカーテンを取り付けてプライバシーを守れるようにしています。プールでは外部から見られないようによしずを使用したり、Tシャツを使用したりしています。
- ・個人情報の取り扱いや守秘義務については、研修や職員会議でその意義や目的、具体的な基準を話し合い、保護者にも説明しています。個人情報は事務所の施錠できるロッカーに保管して持ち出し禁止とし、児童票などの書き直しも事務室内でしています。また、実習生やボランティア、保護者の保育士体験でも守秘義務について説明し、誓約書に署名してもらっています。写真についてもデータでは渡さないようにし、情報が流出しないようにしています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- ・基本方針は、入園説明会や懇談会、園だよりで説明し、年度末には横浜市保護者向けアンケートを実施し、保育方針が理解されているか把握できます。園長だよりを年4、5回出して、保育方針が理解されるように努めています。
- ・1、2歳児は個人別ノートに子どもの様子を記載し、3～5歳児は、毎日クラスの活動を掲示して保護者に伝えています。
- ・毎日の送迎時には、その日の子どもの様子を伝えるなど保護者と会話するように努めています。長時間保育の場合は引継ぎノートや口頭で非常勤職員に引継ぎしています。その結果、保護者アンケートでも満足度が高くなっています。
- ・保育士体験では、保護者が絵本の読み聞かせやふれあい遊びをしたり、保護者の得意なものなどで午前中過ごし、昼食を子どもたちと共にとったあと、職員と個別面談を行っています。
- ・行事、地域交流、育児支援ほか日常の様子を写真にして、玄関に掲示しています。クラスノートやクラスだよりにも、日常の様子を写真を貼っています。
- ・保護者会の月1回の役員会、総会、写真販売の整理や集金のために、保育室などの提供をしています。
- ・日本舞踊やバルーンアートなどの保護者会主催のイベントには職員も出席しています。

＜工夫している事項＞

- ・日常の保育で使っている絵本や手遊びを、保護者に月1

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	・地域住民との交流は、園庭開放、絵本の貸し出し、育児講座、交流保育、ランチ交流、夏季にはプール開放を行うほか、常時「育児相談」を受け付け、それら参加者との会話の中で園に対する要望の把握に努めています。 ・交流保育（年6回）、ランチ交流（毎月1回）、園庭開放（毎週水、木曜日の午前中）、育児講座（年3回）を行っています。今年度の育児講座では水遊び、手作りおやつ、歯科健康講座を行いました。手作りおやつ講座では子どもと一緒に作れる簡単なおやつ（スイートポテト、つまみあげ）の試食とレシピを提供し好評を得ました。
Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能 	・園庭開放や子育て講座、交流保育などの子育て支援事業の案内チラシを作成して、園の入り口の掲示板や地域の掲示板20か所に掲示をしたり、子どもたちの散歩で配布したり、子育て支援拠点「はぐはぐの樹」に置いて情報提供しています。 ・育児相談は相談日を設定せず、随時対応しています。園庭開放や子育て講座、交流保育など参加者の育児相談に応じ、電話相談にも随時応じています。 ・相談内容に応じて南区子ども家庭支援課、中部地域療育センター、中央児童相談所などと連携しています。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ 	・夏祭りや運動会、おたのしみ会、クッキーパーティーなどの行事に地域の方を招待し、地域の公園愛護会と三春台公園の清掃や花植えなどの活動を年間を通して行っています。 ・太田小学校の1年生と5歳児がミニ運動会、給食体験などを行い、4歳児が2年生と手作りおもちゃで遊ぶなど定期的に交流があり、小学校の運動会にも招待されています。また、太田小学校の合同防災訓練に参加したり、1月には作品展に園児の作品も展示する予定になっていて、連携を積極的に図っています。 ・市立図書館に登録し、150冊の絵本などを借り、園の絵本とあわせて地域の人に本の貸し出しを行っています。毎月第1、第3土曜日の午前中に地域支援室を開放しています。 ・町内会の盆踊りや南区主催の南まつりの盆踊りに職員と園児が参加するなど地域の行事にはできる範囲で参加しています。
Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供 	・園のパンフレットを作成し、南区子育て支援拠点「はぐはぐの樹」に置いて情報提供しています。南区主催の「なんなんデー」では園の紹介コーナーを設け、手作りおもちゃなどの紹介もしています。 ・入園のしおりには職員体制、保育方針、保育の流れなどの情報が記載され、保育料については「横浜市保育所入所案内」に記載されています。 ・保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、入園のしおりに基づいて説明しています。
Ⅳ－３ 実習・ボランティアの受け入れ 	・ボランティアや実習生は、保育理念・方針、ボランティアの心得、子どもや保護者への配慮を理解の上、受け入れています。 ・南区からの有償のボランティア、地域のお話し会のボランティアを受け入れ、園長が窓口担当者となっています。ボランティアの方々には年度末には感謝を込めて、5歳児が作った手作りクッキーをふるまっています。 ・実習の目的に応じて、部分実習・責任実習などが効果的に行われるようにクラス担任がプログラムを工夫しています。担当職員は、毎日実習生との反省会を設け、意見や質問に対応しています。実習終了時には園長と反省会を行い、振り返りや感想の聞き取りをしています。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅴ－１ 職員の人材育成 	・子どもの人数に応じた職員が配置されています。園長と職員は担任や役割分担を決め、必要な時はアルバイト職員を補充しています。 ・園長は職員一人一人と面談し、人事考課制度により職員が作成した目標共有シートを基に、年間目標を立てています。年度末に再度面談して、達成状況の確認や反省をしています。 ・園内研修は午睡の時間に、担当者を決めて非常勤職員も出席できるように2部制にして実施しています。短い時間に効率よくできるように、担当者が事前準備をしてポイントを絞って行っています。 ・職員、非常勤職員ともに、園外の研修にも参加し、報告書と共に資料を添付して回覧し、発表もしています。 ・研修計画について秋に中間振り返り、12月には面談をして研修の成果を評価しています。研修内容見直しの仕組みがあります。 ・福祉員（朝夕の保育や環境整備を担当する嘱託職員）は福祉員リーダーが、アルバイト職員はクラス担任が、指導担当者となっています。園長やクラス担任とはアルバイト会議、福祉員会議で情報共有しています。 ・各クラスのデイリープログラムには、リーダー、サブ、アルバイト職員の動きを細かく表にして、わかりやすくしています。

評価分類	評価の理由（コメント）
V－2 職員の技術の向上 	・年1回職員は自己評価チェックリストを用いて自己評価し、担当者を決めて園内研修で園としての自己評価をしています。 ・外部研修での事例をもとに、園内研修や研修報告の形で勉強会をしています。 ・中部療育センターの職員に年2回の訪問で子どもの様子を見てもらい、ケース会議で保育技術の具体的な指導を受ける仕組みがあります。 ・各指導計画、保育日誌に記入してあるねらい、配慮事項に対して自己評価するようになっていきます。子どもの気持ちがどうか、意欲を促すような援助ができたかどうか、子どもが徐々にできるようになってきた様子などを詳しく記述しています。その結果を、次回の計画作成に反映させています。園長、主任の助言や、ほかの職員の日誌の記載を見ることで、気づきを得ています。 ・第三者評価を受けるにあたり、一人一人の自己評価をもとに少人数で話し合い、それを全体に報告して話し合い、さらに担当を決めてまとめました。
V－3 職員のモチベーションの維持 	横浜市人材育成ビジョンとして、経験・能力に応じた役割が明文化されています。目標共有シートで目標を立て、年度末には園長と達成状況を確認しています。 ・デイリープログラムで各職員の行動計画がたてられ、園長不在時でもマニュアルに沿い、その場に応じて自主的な判断で対応しています。 ・2月には職員アンケートを行い、年度末の振り返り、来年度の希望や来年度に向けての意見を聞いています。 ・園長は職員と個別面談を年3回行い、職員の満足度・要望を確認し、次につなげていけるように具体的な助言を与えています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
VI-1 経営における社会的責任 	・児童憲章は玄関と各クラスに掲示し、法、規範、倫理の必要部分をファイルにして、職員はいつでも見られるようになっています。また、園長がコンプライアンス研修を受け、園内研修で職員に周知しています。 ・横浜市や南区のホームページで運営情報を公開しています。 ・ゴミ担当の職員を決めて分別方法の確認、チェックをし、空き箱、牛乳パック、カップなどを利用しておもちゃを作ったり、裏紙でコピーをとったりしています。 ・プールの水の再利用、すだれ・よしずを使う、こまめに電気を消す、グリーンカーテンを作るなどの取組をしています。 ・5歳児の年間指導計画に「エコ活動」の欄があり、生ゴミの一部を乾燥機に入れ、たい肥にして畑に撒いています。分別できるゴミ箱作りなどもしています。 ・年1回横浜市環境循環局の「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」の取組として、ラッピングカーに来てもらって紙芝居などで環境への考え方の指導を受けています。
VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等 	・重要な意思決定にあたり、保護者とは懇談会、保護者会、役員会で継続的に意見交換をしています。職員には職員会議、福祉員（朝夕の保育を担当する嘱託職員を福祉員と呼んでいる）会議、アルバイト会議で説明しています。年度途中での担任変更などは掲示だけでなく、園長が個別に口頭で説明しています。 ・調理士、福祉員などとも園内研修や検討会を行っています。 ・主任は、各種カリキュラム、日誌、クラスノートなどの記録に目を通し、業務状況を把握し、各職員との連携も密にとり、園長と職員とのパイプ役になっています。ほかに、新人職員にはトレーナー職員制度があり、相談にのってもらうことができます。
VI-3 効率的な運営 	事業運営に影響がある情報は、南区こども家庭支援課内会議や園長会その他地域の関係機関との会議で収集して分析しています。 ・重要な情報は職員会議やリーダーミーティングなどで話し合っており、園の改善課題としています。 ・重要な改善課題は、職員会議や福祉員会議、アルバイト会議で全職員に周知し、園全体の取組としています。今年度第三者評価受審にあたって自己評価をして見つけた改善課題は、園全体で取り組んでいます。

利用者家族アンケート

施設名：横浜市三春台保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数67名、全保護者61家族を対象とし、回答は44家族からあり、回収率は72%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約3週間後までに密封して匿名で 保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、98%の回答が肯定的(満足55%、どちらかといえば満足43%)と高い評価でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 入園時の対応については、入園前の見学をしなかった保護者を除くと、全設問合わせて94%が肯定的な回答をしており、高い満足度を示しています。
- 2) 遊びについては、全ての設問を合わせて98%が肯定的な回答となっており、保護者の満足度が高いことがうかがわれます。特に「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については」および「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては」の設問には、すべての回答が肯定的でした。
- 4) 生活については、全ての設問を合わせて95%が肯定的な回答となっており、園における生活は高く評価されています。特に「基本的生活習慣の自立に向けての取り組みについては」の設問には、すべての回答が肯定的でした。
- 5) 園と保護者との連携・交流について、7項目の設問を合わせて、肯定的回答が93%と高く、保護者との関係は良好であることを示しています。
- 6) 職員の対応について、5項目の設問を合わせて、肯定的回答が96%となっており、職員への信頼が高いことを示しています。

◇ 満足度がやや低い項目

- 1) 「年間保育や行事に保護者の要望が活かされているか」の設問には否定的回答が27%に達しており、保護者が要望しても満たされない気持ちがあることがうかがえます。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	16%	59%	9%	16%	0%	0%



問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	79%	18%	3%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	55%	20%	2%	0%	23%	0%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	50%	27%	7%	0%	16%	0%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	47%	43%	5%	0%	5%	0%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	61%	27%	5%	2%	5%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	62%	32%	2%	0%	2%	2%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	62%	27%	7%	2%	2%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	41%	50%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	23%	48%	25%	2%	2%	0%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	57%	41%	2%	0%	0%	0%
その他:						
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	68%	28%	2%	2%	0%	0%
その他:						
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	59%	36%	5%	0%	0%	0%
その他:						
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	70%	30%	0%	0%	0%	0%
その他:						
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	62%	36%	2%	0%	0%	0%
その他:						
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	48%	52%	0%	0%	0%	0%
その他:						

生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	63%	32%	5%	0%	0%	0%
その他:						
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	55%	41%	2%	0%	2%	0%
その他:						
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	61%	39%	0%	0%	0%	0%
その他:						
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	55%	30%	13%	2%	0%	0%
その他:						
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	55%	34%	2%	2%	7%	0%
その他:						
お子さんの体調への気配りについては	71%	25%	2%	2%	0%	0%
その他:						
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	64%	30%	4%	0%	2%	0%
その他:						

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	64%	32%	2%	0%	2%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	59%	41%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	46%	45%	9%	0%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	48%	41%	6%	5%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	55%	38%	5%	2%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	57%	38%	5%	0%	0%	0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	48%	43%	7%	2%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	53%	41%	2%	2%	2%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	53%	43%	0%	2%	2%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	59%	34%	5%	0%	2%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	41%	50%	2%	2%	5%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	61%	34%	5%	0%	0%	0%
	その他:					
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	63%	32%	5%	0%	0%	0%
	その他:					
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	52%	30%	2%	0%	11%	5%
	その他:					
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	57%	41%	2%	0%	0%	0%
	その他:					
意見や要望への対応については	55%	36%	7%	0%	0%	2%
	その他:					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答
総合満足度は	55%	43%	2%	0%	0%

観察方式による利用者本人調査

平成 25 年 12 月 17 日、25 日

施設名：横浜市三春台保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

◇おたのしみ会ごっこ

週末に保護者の前で行った発表会を、今度は地域の子どもたちの前で行いました。保護者の前では緊張して泣いてしまった子どもも、今回はリラックスしてできました。

5 歳児の始まりのあいさつのあと「世界中の子ども達」を全員で歌いました。1、2 歳児の子どもたちも口ずさみながらリズムをとっていました。

1 歳児は「やさいのうた」の手遊びを披露しました。2 歳児は「かみなりさんが来た」をしました。1 歳児も席で一緒に頭を隠すなど、楽しそうに動きをまねていました。

◇1 歳児

<園庭遊び>

子どもたちは園庭に出て砂遊びを始めました。職員と一緒に大きな山をつくったり、コップに入れた砂を型ぬきしたりしていました。電車の遊具を砂の上で動かして「せんろ、できた」と話している子どもがいたり、調査員にシャベルですくった砂を渡してくれる子どももいました。みんな集中して遊んでいました。職員は見守りながら「できたね」と声をかけていました。

<食事>

エプロンをして自分のマークの席に着き、お茶と野菜サラダがそれぞれの子どもの前に置かれました。野菜が嫌いな子どもも「少し食べようね」と職員が声をかけると、スプーンで口に運んでいました。「〇〇ちゃん、すごいね」と言うので得意そうな表情で野菜サラダを食べていました。野菜サラダが少なくなった子どもからカレーライスを配膳し、どの子どももカレーは大好きようで、次々とスプーンですくって食べていました。「あつまれして食べようね」と職員がすくいやすく茶碗のすみに集めると、上手にすくってきれいに食べていました。カレーを食べ終わった子どもからデザートの柿を配ると、手づかみで食べていました。

◇2 歳児

<公園遊び>

保育室に戻った子どもたちに「公園に行くよ」と職員が声をかけると、順番にトイレを済ませ、自分の帽子と靴下を取出し準備を始めました。工事のため 1 歳児側の保育室から園庭に出て 1 列に並び、職員は人数を確認して、前の子どもの肩に繋がって、園庭にあ

る公園入口の鍵を開けて公園に出ました。子どもたちは思い思いに滑り台など遊具で遊んでいました。職員が「お化け来た…」と追いかけると元気に逃げ回っていました。近隣の人が犬の散歩で公園を通りかかったときは「遠くから見てようね」と子どもたちに声をかけていました。

園の方からカレーの匂いがしてきたので「今日はカレーだよ。給食だから、お教室に戻ろうね」と声をかけ、人数を確認して園庭の扉から園に戻りました。テラスで足を洗って、保育室に帰り、順番にトイレに行っていました。

<食事>

テーブルに着くと、職員がサラダ、カレー、柿、お茶を配膳し、「いただきます」のあいさつをして食べ始めました。口にいっぱい入れている子どもに「もぐもぐ」と声をかけ、野菜サラダが呑み込めない子どもに「次、カレーだよ」と言っていました。「今日は柿のおかわりがあります」と言うと、全部食べ終わった子どもから「柿、おかわりください」と職員に伝え、おかわりをもらっていました。食事が終わった子どもからワゴンに食器を片づけ、歯磨き用の椅子に座って歯磨きを始めました。自分で磨き終わった子どもは「仕上げをお願いします」と伝え、職員に仕上げ磨きをしてもらっていました。

<午睡>

着替え用のマットの上で自分のパジャマを出して着替え始めました。職員の手助けを受けながらそれぞれの子どもたちが自分のペースで着替えていました。着替え終わった子どもは順番にトイレに行っていました。準備ができた子どもたちは絵本コーナーで絵本を読んでいる。ほとんどの子どもが準備できたら、職員が「今日は『アンパンマン』紙芝居だよ」とままごとのコーナーで紙芝居を始めるとみんな集中して話を聞いていました。紙芝居が終わったころにはお昼寝用の布団が敷かれていて、子どもたちは自分の布団に横になり眠りの準備に入りました。

◇3 歳児

公園でのどんぐり拾いが大好きで、保育室にはどんぐりがいっぱい入った缶が置いてあり、どんぐりに粘土を付けたお人形など、どんぐりを使った作品がいろいろ置いてあります。おたのしみ会ごっこでも「どんぐりころころ」の劇にしました。先生がどじょうで、子どもたちはどんぐりになり、歌や演奏を披露しました。缶でマラカスやタンバリンも自作しました。

おたのしみ会ごっこが終わった後は、園庭で「ころがしドッジボール」で遊びました。

<食事>

テーブルに着いた後、食事が運ばれるまでは職員に絵本を読んでもらいます。サラダが運ばれてくると、「いただきます」をする前に食べ始める子どももいます。職員に「待ってね。」と言われ、みんなで「いただきます」と手を合わせて食べ始めます。お箸を上手に使ってサラダを食べます。カレーをお代わりする子どもが何人かいます。食べ終

わった子どもは歯磨きをし、ブロックで遊び始めます。ブロック遊びの子どもには、職員がついたてを立て、食べている子どもから見えないようにしています。

<帰りの会>

野毛山動物園まで散歩に行った日の帰りの会で「今日は動物園までいっぱい歩いたね、拍手ー」と職員が誉めると、「ライオンさんがいたー」など口々に動物の名前を言っていました。泣いている子どもがいて、職員が「一番じゃなくていいんだよ」となだめていました。

◇4 歳児

おたのしみ会ごっこでは鬼さんの劇をしました。かわいい赤鬼、青鬼、緑鬼、黄鬼さんたちになって、それぞれ得意なダンス、けん玉、ボール、綾取りを披露しました。鬼さんの劇に出てきたライオン、ゾウ、ヘビを子どもたちが絵具で色つけしましたが、意見が割れて、ツートンカラーのライオン、まだらのゾウ、縞模様のヘビになりました。

おたのしみ会ごっこが終わったあと、その絵を描きます。先生は「〇〇ちゃんは、どうだったかな？」と、思い出させるように話しかけています。

<食事>

食事の前に、職員がなぞなぞを始めます。子どもたちは目を輝かせて、答えています。当番2名はエプロンをつけ、テーブル拭きやお茶を配ります。そろった子どもから「いただきます」をして、おしゃべりをしながら食べています。「今日の魚はカジキマグロだよ」と得意げに調査員に話してくれる子どもがいました。おしゃべりし過ぎて手が止まっている子どもには、職員が時々声を掛けていました。すべて食べ終わった子どもは「おかわりください」と職員に言っています。食器を片づけようとしている子どもに職員が「もう少しお皿きれいにしようね」と声をかけると箸で上手に食べ残しの野菜を集めて口に入れていました。職員が「頑張ったね」と言うと、笑顔になっていました。

食器を片づけた子どもから歯磨きをして、パジャマに着替え、絵本のコーナーで絵本を読んでいた。「このゲームをやりたい」と子どもが職員に声をかけると「コスモスさんのテーブルがきれいになったらね」と伝え、テーブルの片づけが終わってから、みんなで集まってゲームをしていました。

◇5 歳児

おたのしみ会ごっこでは、始めと終わりの言葉を言います。出し物はハンドベルで、落ち着いて演奏できました。

おたのしみ会ごっこが終わったあと、その絵を描きます。〇〇ちゃんはああだった、こうだったとおしゃべりしながら思い出して描いています。

<食事>

給食だよりを見て、「カレー、カレー」と喜んでいる子どもがいます。給食当番はエ

プロンをして帽子をかぶります。エプロンのひもを結ぶのに格闘しながらも、なんとかできました。当番2人が、クイズを始めます。

当番がテーブルを拭いたあと、ごはんやおかずを配りますが、「大盛りごはん要る人は？」と尋ねながら配っていました。「かぼちゃが嫌いだけど、給食では食べるよ。」
「あの風、僕が作ったんだよ。」「〇〇小学校に行くんだよ。△△ちゃんと一緒。」とおしゃべりしながら、食事が進みます。お代わりをする子どももいます。頑張って最後まで食べたら、フルーツをもらっていました。

<おやつの後>

あやとりのひもは一人一人の分が用意されていて、数人があやとりをしています。本を見ながら熱心に遊んでいました。園庭で遊びたい子どもは、靴をはいて園庭に出て行きました。

横浜市三春台保育園 事業者意見

第三者評価受審を保育内容や業務を見直す機会とし、職員一人一人が自分の課題を持ちました。また取り組み方はクラス単位で、またはチームになって、乳幼児に分かれて、園全体でと職員がより関わり合い、意見交換の場を多くもてるように設定しました。経験年数の違いや職種の違い等それぞれの良さを生かし、より良い保育園作りに全職員が同じ目標に向かい進むことができました。

取り組みの中でも「園内研修をもち全職員が周知する」という事が課題でした。全職員となると勤務時間帯の違いもあり難しく、2部制で行うようにしました。時間を作るためには職員間の協力は不可欠であり、中心となって進めていく担当者も分担されることで、聞く側だった職員が次の研修では伝える役へと変わりました。結果理解がより深められ、職員の連携にも繋がったと思います。

保護者のアンケート結果を今後の運営にいかし、いただいた助言も全職員で話し合い取り組んでいきたいと思います。今年度の実績を今後も継続し続けること、職員が入れ替わる中でも引き継がれていくこと、そして子どもたちの最善の利益を守り、全職員で力を合わせ頑張っていきたいと思います。